

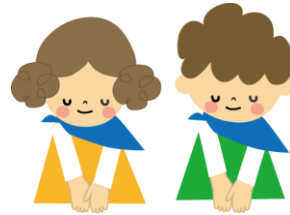
## 三瓶施設長より

全国的に温かな陽気になり、春の日差しが心地よくなりましたが、皆様お変わりなくお暮しのこと何よりに存じます。

平素は当施設の運営に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。お陰様を持ちまして、皆様の温かいご支援のもと、平成29年度の事業運営を行えましたことを改めてお礼申し上げます。

さて、竹の塚あかしあの杜は、通所利用者21名、入所利用者40名で平成30年度を迎えることとなりますが、年度初めは、職員の異動や新人職員の育成等、平常時とは異なる慌たしさもあると存じます。そのようななかでも、職員一同一丸となってより良いサービス提供に努めさせていただきます。新年度を迎えましても、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ありがとう  
ございました



## 第三者評価結果報告

福祉サービス第三者評価は、事業所が提供するサービスを専門機関に評価していただくことにより、日頃の取り組みの良い点、改善が望まれる点について指摘を受け、サービスの質の向上に繋げるための気付きを得る大変重要な取り組みになると思います。

本年度、竹の塚あかしあの杜は、特定非営利活動法人・福祉経営ネットワークによる第三者評価を受診し、利用者調査・職員自己評価を実施しました。全体の講評としては、①利用者一人ひとりが主体性をもって生活していくための支援、②利用者からの要望が多い外出のニーズに対応するための支援体制の整備、③職員育成の仕組みと計画的な育成の取り組み等について好評価をいただきました。

一方で、地域の福祉ニーズを把握したうえで、事業所が貢献できる具体的な取り組みの実施について、成果を上げられるよう指摘を頂きました。より一層、地域とのつながりを意識した施設づくりが求められているのだと感じました。施設全体でしっかりと取り組んで参りたいと思います。

ちなみに、この福祉サービス第三者評価につきましては、これまでも必要に応じてバージョンアップが図られてきましたが、本年度に評価方法を一部見直す方向で作業が進められているそうです。

### 『第三者評価とは…』

第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともにサービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促すことで、利用者本位の福祉の実現を目指すもの。



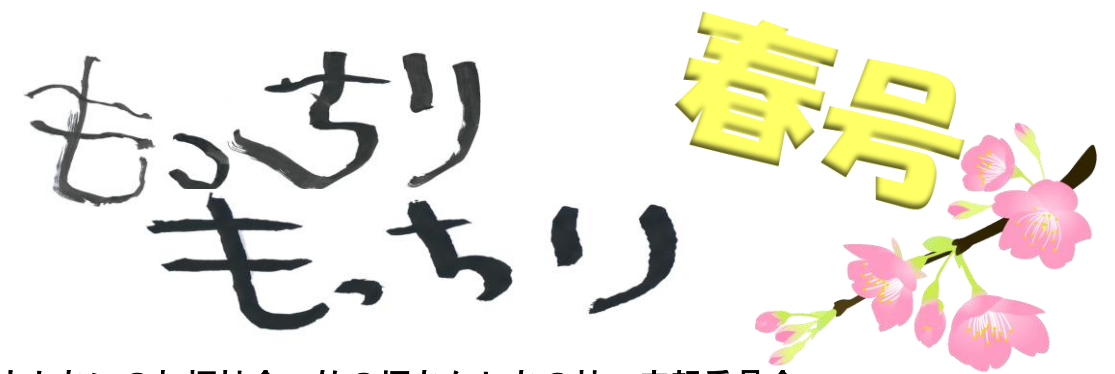
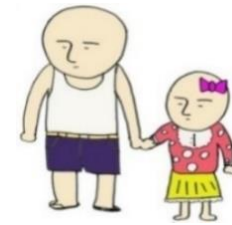
### ボランティアさん募集

年齢・性別・経験は問いません。  
興味のある方、楽しみたい方、ご連絡お待ちしております。  
連絡先: 03-5654-7731(代)

### ■編集後記■

今年度最後の発行となりました。どの号も楽しんで頂けたでしょうか？

来年度も充実した広報誌を発行出来るよう、日々ネタ集めに奔走します！（記 池田）



発行元：社会福祉法人あいのわ福祉会 竹の塚あかしあの杜 広報委員会  
〒121-0813東京都足立区竹の塚7-19-11 TEL：03-5654-7731（代）  
FAX：03-3859-6655

発行責任者：三瓶 善衛



お花見・すいか割り・芋掘り・ハロウィン・書初め。。。皆さんと一緒に季節を感じ、その時々イベントを楽しみ、たくさんの思い出が出来ました！



マンツデー・1日外出・旅行で様々な場所に出掛け、多くの体験をしました！



本誌掲載の写真・個人名の使用については個人情報に基づき、ご本人の許可をいただいております。



## きずなより～施設入所支援～

2月4日、利用者企画で「冬のカラオケ大会」が開催されました。2階と3階がそれぞれ3チームずつに分かれ、各チームで選んだ「冬の歌」を披露しました。  
2階は「越冬つばめ」「雪」「いい日旅立ち」、  
3階は「夜空ノムコウ」「雪の華」「なごり雪」の計6曲。  
各チームとも曲にちなんだ衣装や小道具を揃え、寒さを吹き飛ばす元気な歌声を聴かせてくれました。(記 落合)



「白」の衣装で揃えました！



歌詞カードを見ながら大きな声で歌いました！

## 交換研修

入所施設「きずな」では、多摩療護園と交換研修を実施しました。今回は、1月17～19日の3日間に渡り、多摩療護園から2名の職員が「きずな」での研修を行いました。  
研修を通しての感想を紹介したいと思います。

○3日間と短い期間でしたが多くのものを学ばせていただきました。学び得た事を多摩療護園で活かせるように頑張ります。ありがとうございました。

○同種他施設で研修させて頂き、改めて自分たちの働いている施設を見つめ直す機会になりました。背景やハード面の違いもあるので、学んだものをそのまま取り入れることは困難ですが、得たものを活かせるように取り組んでいきたいと思ひます。改めて3日間研修させて頂きありがとうございました。

「きずな」の職員にとっても、たくさんの気付きを得られる良い機会となりました。職員間で気付きを共有し、利用者の皆さんにとってより良い施設作りの糧としていきたいと思ひます。(記 池田)



## のぞみより～通所支援～

1月より堀内聖巳職員を迎えました。

- Q1. 好きな女性有名人は？  
石田ゆり子、ローラ  
Q2. 趣味・スポーツは？  
料理、スノーボード  
Q3. 好きな食べ物は？  
カレー、グラタン、ハンバーグ、すし  
Q4. 得意技は？  
キャベツの千切り  
Q5. 一か月経過後「のぞみ」の印象は？  
今まで毎日昼食は、冷蔵庫の残り物弁当でしたが、寒い時期に温かい「給食」があるのは本当にありがたいです！  
Q6. 似ている芸能人は？（のぞみ職員の声）  
顔：斎藤工 声：関暁夫

約4年ぶりに皆様にお会いできてうれしく思っています！！  
皆様の笑顔が私のパワーの源です。



## 研修報告

1月12日・14日・30日の3回に分けて、夜間想定防災訓練を行いました。きずな（入所施設）の夜間体制は、各フロア2名ずつ計4名の為、火災が発生した際、どのように利用者の方を安全に誘導できるか、支援員を中心に訓練を実施しました。

訓練内容は、散水栓や火災通報専用電話機を始め、災害時に使用する設備に関する説明を行い、マニュアルを用いて一連の流れを説明し、一つ一つ動きを確認していきました。参加した支援員より、万が一非常事態が起こった際のイメージができた事がよかったという意見が多く挙がりました。

質問として、利用者への対応に関する内容が多く、独歩の利用者はヘルメットをつけた方が良いのか、普段2人抱えて介助を行っている利用者の避難はどうしたらいいのか等の具体的な質問がありました。

今回の訓練で集まった意見・質問を防災委員会で検討し、今後の訓練に活かし、有事の際に備えて利用者を安全に避難できるよう努めていきたいと思ひます。(記 鈴木加)

